

知りたいこと 望むこと

9人の議員が一般質問

町体育施設の有効利用を

教育長―検討していきます



宇田川 亮 議員

質問 町外者から使用料の徴収を考へては

質問 町民グラウンドの使用料は、照明を使わない限り無料ですが、使用者の7割を占める町外者からは使用料を徴収してもいいのではないか。

社会教育課長 現在行財政改革専門部会で検討中です。

税務課長 部会では有

料にする方向で進んでおり、19年度からの実施を考へています。

第3日曜日の施設の利用はどうなった

質問 前回質問した際、前向きに検討すると答弁されたが、どうなっているのか。

教育長

第3日曜日を開設するにあたっては、勤務条件や予約システムの変更、条例改正など必要となり、尚検討が必要ですが、もし開設の方向になって、準備期間

が必要で、すぐにというわけにはいきません。新年度までに準備して、その方向に持っていかなければと思っています。

土のテニス練習場の有効利用は

質問 以前フットサル場としての利用をと提案しましたが、使用希望者も多いと思われるので検討していただきたいが。

町長 使用料等の問題もあります。また、グラウンドの整備についてはボランティアの協力が得られたらいいと思っています。実現に向けて努力

します。

大谷自然公園の管理は

質問 現在までの使用状況は。

町長 4月にオープンし、宿泊施設は7月から9月までの間利用できることとしています。利用者は、7月が618人、8月が470人で、宿泊利用者総数は59組、1088人となっています。その中で町内の利用者は、65%です。利用者は宿泊以外に付近の散策等で楽しんでおられました。

質問 今後の利用と管理は。

町長 10月から6月までの間の施設の利用については、社会教育課へ申し込みをしていただければ、警備会社が監視することとなっています。また、ゴミの不法投棄やいたずら等が予測されますので、毎週1回月曜日に見回りを行っています。



使用されていない土のテニス練習場

公用地問題と今後の展開は

町長―対策会議を立ち上げ早期解決を



仲野 守 議員

上げ、町、公社は協定書、覚書等の履行ができない旨の公文書を求め、同時に無償で貸し与えを行っている公用地の使用を差し止める法的処置を講じるか、また約定書による損害賠償等の法的処置を取るなど検討が必要です。

また、野球場やサーキット場など施設の状態回復を求め、広く対策会議で検討し、問題の早期解決を考えています。

一部事務組合の方向性について

質問 今般、国際電子整備学園の敷地、建物が特別売却による競売で、他の学園が落札し、公社所有の残地は必要なく、競売により国際電子整備学園は、今後学園運営もできず、公用地も現在の地価は約20億円膨れあがり、同学園による用地の購入等は不可能な状態です。

質問 旧鞍手郡四町で負担金を出し運営を行っていた消防業務やじん芥処理施設は宮若市の誕生で、規約の変更、組織替えの必要が生じているが、町長の見解を。

町長 対策会議を立ち

(単位：万円)

年度	借入金	金利	合計
昭和56年度	4,525	90	4,615
昭和59年度	110,801	3,800	114,601
昭和60年度 ～平成6年度	11,259	93,191	104,450
合計	126,585	97,081	223,666
平成7年度	91,732	82,984	174,716
平成17年度	91,732	106,589	198,321

町長 現在、更なる広域圏の合併が推進され、当初は10万人構想から急遽30万人の人口を睨んだ消防の広域合併構想があり、まずは二市二町の体制を整えるため、幹事会や助役会で協議を行います。

じん芥施設、消防業務の負担金については、早急に対処します。

補助金・助成金は明確に

町長―改められるものは改めて



岡崎 邦博 議員

万円のうち、22団体約7886万円を交付しています。決算書の提出は22団体中20団体。各団体の総会資料等で事業内容や活動状況を把握し、決算・監査報告を参考に審査をしています。

質問 補助金、助成金の支給目的が明確にされていないため、本来自己資金で負担すべきものが含まれていたり、役割を終えている補助金、助成金が既得権として支給されていることがあるかも知れません。そこで補助金等の明確な交付基準の策定が必要だと思えますが、作業状況は。

町長 役割が終わったものはやめ、既得権等々の問題は部会で検討し、改められるものは改めていきたい。

質問 平成17年度一般会計で多くの団体に補助金や助成金が支出されています。その総額と対象団体数、領収書添付の有無、監査はどのように。また決算書や領収書の公開は。

町長 平成17年度決算では、総額1億2624

学校図書室の整備状況と今後の取組みは

質問 小中学校図書室の図書総数と充足率は。また司書教諭と学校図書の情報化は。



室木小学校の図書室

教育長 平成17年度、小学校6校で2万9921冊、充足率は86%、中学校2校で1万5896冊、充足率は83%です。司書教諭は兼任になりませんが、古月小以外はすべての小中学校に配置しています。電算化の実施は、南中学校1校のみです。今後各校とも電算化することを考えています。

質問 3校ほど見て回りましたが、図書の中味については古いものが多く、まだ不十分です。今後、どのように予算措置をし、学校図書室を学校教育の中でどう位置づけ、活用していくのか。

教育長 学校図書整備事業を5年計画で実施し、300万円を支出しました。今後子ども読書環境整備のため、学校図書の充実に努めていきたい。

町民憲章を策定し、「倫理による町づくり」を

町長—町の将来ビジョンが見えてきたときに検討したい



香原 進 議員

質問 「倫理による町づくり」を提唱したい。倫理といったときに、こみ捨てないとか、汚職をしないとかいった、最低限守らなければならぬ倫理があるが、今よりもっと事態を良くする、もっと境遇を改善する、もっと幸せになる、と

いった積極的な意味の倫理がある。

町長は、6月議会での所信表明の中で、8つの柱を立て、これから取り組むべき課題を示されたが、それを実現するために、住民の心をひとつにする町民憲章を作り、「倫理による町づくり」を進めてはどうか。

町長 町民憲章は、倫理感を高める内容でなければならぬというところは当然にあると思います。現在本町では、行財政改革に取り組んでいますが、一定の町のビジョンが見えてきたときに皆さんの意見を聞きながら策定について検討したいと思います。

財政状況を明らかにするバランスシートの作成を

質問 住民の中には、

鞍手町は合併をせずに単独でいくことになつたが、財政状況はどうなのかといった心配があります。町の資産・負債を一つの表に示すバランスシートを作成する考えはないか。

町長 県下では、69市町村のうち、32市町村が作成済みです。バランスシートの作成は行財政改革を進めるためにも必要だと思いますので早急に作成したい。



宗像市庁舎前の市民憲章

町立病院の診療内容の充実を望む

町長—医師の確保、財政面から無理



田中 二三輝 議員

質問 町立病院に、婦人科、小児科、消化器科、糖尿病などの診療内容の充実はできないか。

町長 医師の確保が難しく、また、財政的にも無理な状況です。

質問 町立病院や公共施設へ巡回バスを運行しては。

町長 町内巡回バス運行導入検討委員会を設置し、高齢者や子ども、身体の不自由な方、交通空白地域を対象に導入に向けて鋭意取り組んでいます。

質問 新農業法の施行による農業の振興と農地の見直しは。

町長 町づくり計画に沿った農地の活用を行い、本町農業の振興につなげていきたい。

質問 小中学校の通学路の歩道の拡幅と子どもやお年寄りのため、段差を取り除いていただきたい。

町長 厳しい財政状況にあるので、条件が整えば一部改良等費用をかける創意工夫をして取り組んでいきます。

質問 鞍手インターのアクセス網の整備によって、近隣市町村からの利用者も増え、企業の進出も見込めると思うが。

町長 主要な地方道や県道に接続すれば、利便性

が向上し、相乗的な地域の活性化が期待できます。その中で積極的に企業の誘致を図っていきたい。

質問 自然災害発生時の各地域の避難場所の周知徹底と安全確認等は、必要不可欠であると思うが。

町長 地域防災計画を策定し、公共施設などの避難場所を指定しており、広報で町民の方にお知らせしています。また、高齢者や独居老人等の安否確認については、マニュアルがありま

せんのので、安全対策を図っていきます。

質問 当町の救助物資等の備蓄状況は。

町長 現在救助物資等の備蓄はありません。財政の問題もありますので慎重に検討します。

質問 遠賀町、岡垣町、芦屋町の合併を考えると。

町長 まずは、旧鞍手郡の合併を目指します。その後近隣市町の合併を考えます。

乳幼児通院医療制度を就学前までに拡大を

町長—拡大するとすると町の負担が重い



花田 すまこ 議員

質問 鞍手町の乳幼児医療費助成制度と出生率について現状は。

町長 乳幼児医療費助成制度は県の補助事業として、昭和49年から実施されています。現在、県が下69市町村のうち、県が

定めた3歳児までの実施は42自治体、3歳児以上を対象としているのは27自治体です。鞍手町は外来診療は3歳未満が無料、入院は平成16年1月から小学校入学前までに拡大されています。また健康保険の改正で、19年1月から、今までかかっていた初診料と往診料も無料になります。

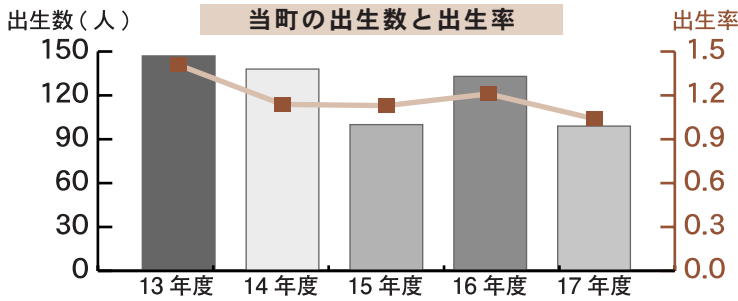
出生率は、平成15年が1・13、16年、1・21、17年は公的な数字ではありませんが、1・04で、出生数は99人です。晩婚化、非婚化の傾向で、今後も少子化は進むと考えています。

質問 就学前の児童は病気がかりやすく、急性疾患では重症化しやすいため、早期発見、早期治療が求められるので、通院についても就学前までに延長できないか。

また、出産一時金、本年10月から、35万円に増額されるが、受領委任払い制度により、かかった医療費から35万円を差し引いた額の支払いで済むようにならないか。

町長 乳幼児医療費の対象児童は、3歳未満で、347人、就学前までに拡大すると759人になり、町の負担が増えます。平成17年に、次世代育成支援構造計画が策定されていますので、今後は目標事業の達成に向けて進めていきたいと思っています。

受領委任払い制度は近い将来実施されると思います。



かんがい用排水の基金の取崩しや運用の考えは

町長—今の時点で取崩す気持ちはない



日高 直幸 議員

質問 町財政は、平成21年度には25億円の不足が見込まれているが、この不足額を補うために、かんがい揚排水の基金を取崩したり、運用する考えはあるのか。

町長 かんがい施設の維持管理や更新に充てる以外は処分できないことになっていきます。ただ財政上、必要と認めるときには繰り替え運用することができ、税や使用料の徴収率向上、歳出の削減を図り、一般財源

に基金を充てるつもりはありません。

合併構想の取り組みと進捗状況について

質問 町長は所信表明で、市町村合併は旧郡部での合併を目指すと言われているが、宮若市は当分の間、合併しないと明言しているため、旧郡部での合併はできないと思われる。方向を転換し、他市町村との方向性を示されるのか。または町単独を決意されるのか。

町長 当初から鞍手郡での合併を目指したいと考えていますが、現在の宮若市は合併直後であり、当面は単独の行政運営の意向を示しています。直方市も早期の合併に向けての取り組みは非

常に難しい状況にあります。しばらくは単独の町づくりを行っていかなくてはならないと考えています。近隣の市町からぜひ鞍手町と合併したいと望まれる財政的に足腰の強い町づくりを推進していきたいと思っています。

質問 来年4月に行われる議会選挙と同時に住民投票を行う考えは。

町長 合併は結婚といっしょで相手がいないとできません。住民投票は今年度中には行いません。

新しい議員さんが出てこられましたら、その時点での話になると思います。



新北排水機場

飲酒運転の罰則規定の現状は

町長―現在は人事院が制定した国家公務員の懲罰処分の指針を遵守



福本 博文 議員

大雨時の浸水対策を解決するために、関係機関に継続的に要望を行う考えは。

町長 赤水の抜本的な対策を関係機関に求めていきます。

浸水対策については、毎年県に対して浚渫の要望をしています。

今後も西川の抜本的な改修も含めて要望していきます。

企業誘致の状況は

質問 町長は、企業誘致は攻めの姿勢でと言われているが。

町長 本町では、企業立地ガイドを作成し、関係機関へ紹介など行い、積極的に取り組んでいます。

町長 国家公務員の懲罰処分の指針を遵守して、処分を決定することとしています。

当町独自の基準は制定していませんので、近隣市町の状況を見て検討します。

質問 西川の鉱毒水や

河川環境の再生を行う考えは

PFI事業をマスタープランに

質問 PFI事業の認識は。

町長 公共施設の建設維持管理運営等を民間の資金で、経営のノウハウの能力を活用するものとして理解しています。

質問 PFI事業を利用して、住宅団地の整地や企業誘致のための造成を考えてはどうか。

町長 遊休用地の有効利用を図らないと経費がかかるので、今後も議会と詰めて話をしていきたいと思っています。

質問 現在第4次マスタープランを作成中ですが、PFI事業を利用した企業誘致や住宅団地の造成を大きな柱として掲げたいか。

町長 民間の活力等いろいろな方法があると思いますから、真摯に町の前途を見据えていきます。

ゴミ袋代の値下げを

町長―価格の引き下げは困難



松本 典子 議員

ていますが、第4次行財政改革を行い、経費の削減に努めているときであり、価格の引き下げは大変困難な状況です。

質問 ゴミ袋の単価はいくらですか。

町長 従来のピンクは10円70銭、9月から使用する黄色は、11円65銭です。

質問 1枚84円のゴミ袋代を10円下げて販売すればいくらの減額となるのか。

町長 平成17年度の販売枚数が70万4000枚です。704万円の減収となります。

質問 ゴミ事業は本来町民から集めた税金です。べき事業ではないのか。

町長 平成17年度のゴミ処理費は、2億5600万円です。その内ゴミ袋代として5800万円入ってきましたので、1億9000万円が不足です。

町長 近隣市町と比べ確かに高いことは認識し

難しく、有料化としていきます。今後、町民の皆さんが納得いく方向で問題の解決をしていきたいと考えています。

質問 事業者のゴミは本来事業者の責任において処理されなければならぬのに、一般家庭と同じようにゴミ袋で処分されています。この問題を解決し、ゴミを減量すれば、ゴミ袋代が値下げできるのではないか。

町長 事業者との問題を解決し、クリーンセンターに搬入するゴミ量を減量できたとしても、宮若市との搬入量の問題もあり、鞍手だけ下げるということは難しい問題があります。今後の推移を見守っていきます。

質問 朝8時にゴミ袋を出しましたが、午後2時、3時にしか取りに来なくて困っているが。

町長 収集業者も8時に出来ますが、順序が決まっているため、昼過ぎになる地域も出てきますので、ご理解ください。